



2016年4月26日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 室町 正志
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 広報・IR部長 長谷川 直人
Tel 03-3457-2100

業績予想の修正に関するお知らせ

2015年度(2016年3月期)通期連結業績予想について、前回予想(2016年2月4日公表)を修正し下記のとおりといたします。

記

1. 修正の内容

2015年度(2016年3月期)通期連結業績予想

(単位: 億円)

	売上高	営業損益	税引前 当期純損益	当社株主に 帰属する 当期純損益	1株当たり 当社株主に帰属する当 期純損益
前回発表予想(A)	62,000	△4,300	△4,000	△7,100	△167円69銭
今回発表予想(B)	55,000	△6,900	△6,000	△4,700	△111円00銭
変動幅(B-A)	△7,000	△2,600	△2,000	2,400	-
増減率(%)	△11.3	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2015年3月期)	66,559	1,704	1,366	△378	△8円93銭

(注) 前回発表予想値及び前期実績値はいずれも非継続事業組み換え前の数値を記載しています。

2. 修正の理由

2015年度(2016年3月期)の連結決算において、東芝メディカルシステムズ株式会社(以下、TMSC)及び家庭電器事業の譲渡、また当社原子力事業に係るのれんの減損を主因として、以下のとおり売上及び損益に影響を与える見込みとなりました。

(1) 売上高

TMSC 及び家庭電器事業の譲渡により、当該事業が非継続事業となるため、売上高が 7,000 億円減少の見込みとなりました。

(2) 営業損益

本日付「当社原子力事業に係るのれんの減損及びWE Cグループ株式の評価損について」においてお知らせしておりますとおり、原子力事業ののれんについて、ウェスチングハウス社を含む原子力事業全体の事業性に変更はないものの、当社格付け低下に伴う資金調達コスト上昇等を要因として約 2,600 億円を営業損失として 2015 年度（2016 年 3 月期）に計上する見込みとなりました。

(3) 純損益

原子力事業ののれんの一部の減損影響があるものの、TMSC の売却益を非継続事業当期純損益に 3,800 億円計上（税後ベース、税前ベースでは 5,900 億円）すること等により 2015 年度（2016 年 3 月期）純損益は 2,400 億円改善する見込みとなりました。

以 上

*（注意事項）

本文書に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。実際の業績は、多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

- ・ 地震、台風等の大規模災害
- ・ 国内外における訴訟その他争訟
- ・ 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- ・ 新規事業、研究開発の成否
- ・ 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- ・ 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- ・ 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- ・ 金利為替等の金融市場環境の変化